

令和6年度のごあいさつ

本校は、昭和22年に開校した創立77周年を迎える伝統ある学校です。昭和30年に、校舎を現在の場所に移転しました。また、これまで20,473人の生徒を輩出しています。今年度、通常学級19学級、特別支援学級4学級の計23学級で、全校で712名の生徒が在籍しています。

今年度、校訓『自治 勤勉 友愛』のもと、学校教育目標を「新しい多様化の時代を生きる心身ともにたくましい生徒の育成」と掲げました。また、研究テーマを「自らの将来を切り拓く生徒の育成～生徒が自ら考え、学び、決定する授業・学級づくり～」としました。

現在、グローバル化や人工知能の飛躍的な進展等により、『予測困難な時代』が加速度を増しており、『人生100年時代』も到来しています。そのような中、子どもたちが夢や目標を持ち、学び続け、自らの未来を切り拓き、幸せに逞しく生き抜いてもらいたいという願いを込めて設定しました。

一方、本校は平成27年度から学校運営協議会を設置し、地域・保護者・学校が協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともに歩む学校づくり」に取り組んでいます。

その特色として、平成21年創設の「東中ファミリーサポートズ」を軸として地域に根ざした活動を行っており、各サポート（スタディ・スマイル・ライブラリー・グリーン・カルチャー）と連携して、学校力のアップに繋がっています。

さらに、重点目標である「み・そ・あ・じ」（みだしなみ／そうじ／あいさつ／じかんを守る）や「立腰教育」「無言清掃」の教育活動を実践し、子どもたちの学力向上や人間力向上に生かしています。特に「無言清掃」を通して、5つの心（感謝の心・気づく心・親切な心・正直な心・思いやる心）を育てています。

今年度も、子どもたちにとって「通いたい学校」、保護者にとって「通わせたい学校」、地域にとって「誇れる学校」、教職員にとって「働きがいがあり、自分の力を存分に発揮できる勤めたい学校」となるよう取り組んでまいります。

今後とも、保護者、地域の皆様には東中学校の教育活動へのあたたかい見守りとご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和5年4月1日

伊丹市立東中学校
校長 前田 徳三